

様式C-21 【作成上の注意】

この報告書は、研究成果報告書（様式C-18）及び概要（様式C-19及びC-20）を所定の期日内に提出できない場合に作成すること。

なお、本様式を提出する時点では、研究成果報告書（様式C-18）及び概要（様式C-19、様式C-20）は、それぞれ国立国会図書館及び文部科学省に提出しないこと。

- (1) 「**標題**」
年度の記入に当たっては、補助金が交付された期間の最終年度を記入すること。
- (2) 「**機関番号**」及び「**研究機関名**」
研究代表者の所属する研究機関の機関番号（5桁）及び研究機関名を記入すること。
- (3) 「**研究種目名**」
特別推進研究、特定領域研究等の研究種目名を記入すること。
- (4) 「**研究期間**」
補助金が交付された期間（年度）を記入すること。
- (5) 「**課題番号**」
科学研究費補助金の交付決定一覧に記載された課題番号（8桁）を記入すること。
- (6) 「**研究課題名**」
交付申請書に記載した研究課題名を記入すること。
- (7) 「**研究代表者**」
 - ア 補助金が交付された期間の最終年度の研究代表者1人を記入すること。
 - イ 研究者番号
さきに文部科学省から通知された科学研究費補助金に係る研究者固有の番号（8桁）を記入すること。
 - ウ 氏名（所属部局・職名）
姓と名の間は、カンマ(,)で区切る。また、部局名（略称可）、職名を記入すること。
- (8) 「**交付決定額**」
交付決定額をそれぞれ記入すること。なお、間接経費の交付を受けていない場合は、間接経費欄に「0」を記入すること。
- (9) 「**研究経過**」
この研究によって最終年度までに得られた新たな知見等の成果を、簡潔に箇条書きにするとともに、今後の研究の展開、見通し等についても記載すること。
- (10) 「**研究成果報告書を所定の期日内に提出できない理由**」
研究成果報告書として取りまとめられない理由、研究成果の公表を一定期間差し控える理由など、所定の期日内に提出できない理由を具体的に記入すること。
- (11) 「**研究成果の提出時期（予定）**」
研究成果の提出予定時期を記入すること。
なお、提出が可能となった時点（原則として次年度中（1年以内））で、すみやかに「研究成果報告書」（様式C-18）を国立国会図書館に、「研究成果概要」（様式C-19、様式C-20）を文部科学省に提出すること。
- (12) 「**その他**」
この報告書は、原則として1枚で作成すること。